

平成27年度 半田常滑看護専門学校 自己点検評価結果報告書

はじめに

専修学校における学校評価については、平成19年の学校教育法改正により、自己評価の実施・公表が義務化、学校関係者評価の実施・公表が努力義務化され、平成23年3月に厚生労働省が示した「看護師等養成所の運営に関する指導要領」の改正で、養成所は、教育活動その他の養成所の運営状況について、自ら評価を行い、その結果を公表することとなりました。

本校では、看護師等養成所の運営に関する指導要領に基づき、毎年度、自己点検評価委員会を開催し、自己点検評価結果を公表しています。

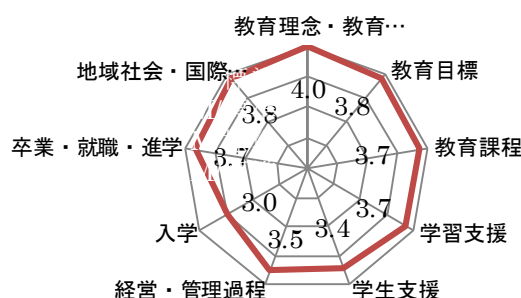
I 自己点検評価の結果

半田常滑看護専門学校自己点検評価委員会規程に基づく自己点検評価を実施し、その評価は、「1：不適切」、「2：やや不適切」、「3：ほぼ適切」、「4：適切」として、各内容の項目毎に平均点を求めて評価結果を示しました。

評価結果

カテゴリー	点検項目数	平均点
1 教育理念・教育目的	6	4.0
2 教育目標	5	3.8
3 教育課程	9	3.7
4 学習支援	6	3.7
5 学生支援	7	3.4
6 経営・管理過程	12	3.5
7 入学	2	3.0
8 卒業・就職・進学	7	3.7
9 地域社会・国際交流	5	3.8

レーダーチャートグラフ



II 今後の課題

半田常滑看護専門学校では、地域の保健医療福祉サービスに貢献できる有能な看護師を育成するため、知識、技術、態度の修得を図り、学生の看護実践力の向上に努めました。

これらの本校における様々な取り組みの結果、平成27年度看護師国家試験の合格率は100%となり、主な実習施設である半田市立半田病院、常滑市民病院にも多くの学生が就職をしました。

一方、3年目となる自己点検評価の実施に基づく現状の課題としては、昨年度と大きく変わらず、カリキュラムの過密等による学生の学習不足や生活面、心理面も含めたきめ細やかな支援体制の構築が挙げられます。また、進化する看護技術に対応するための指導の強化、学習進度に遅れる学生の学習意欲向上を図るための方策、個々の学生の的確な状況把握や情報共有の徹底、近隣の看護系大学開学など、今後の地域医療を取り巻く環境の変化等への対応、学校建物の老朽化に伴う維持修繕費の増大なども大きな課題となっています。

以上の結果を踏まえ、蓄積する課題の解決にさらに努めます。自己点検評価は継続して実施し、本校を地域に誇れるより素晴らしい看護学校としてまいります。